

2025年10月10日

株式会社エフピコ

## エフピコとマツヤスーパーが連携強化！ 食品トレーの「ストアtoストア」で地域のリサイクルを推進

～2026年7月期にCO2排出量「年間52.5t」削減を目標～

株式会社エフピコ（本社：東京都新宿区、代表取締役会長：佐藤 守正、以下「エフピコ」）と株式会社マツヤスーパー（本社：京都府京都市、代表取締役社長：中山 博雄、以下「マツヤスーパー」）は、マツヤスーパーの8店舗を対象に、使用済み食品トレーを新たな食品トレーに生まれ変わらせる「トレーtoトレー」を行い、再び店頭で積極的にエコ製品<sup>※1</sup>を使用する「ストアtoストア」の協働を強化いたします。

お店を発着点とする「ストアtoストア」の流れ



本取り組みのポイント

### 1. 水平リサイクル「ストアtoストア」の推進

地域の皆さまのご協力によりマツヤスーパーの各店舗で回収された使用済み食品トレーは、すべてエフピコで資源として活用され、「エコトレー」などのエコ製品に生まれ変わります。そして、それらのエコ製品が再びマツヤスーパーの売り場で使用されることで、お店を発着点として資源が循環する「ストアtoストア」の水平リサイクル<sup>※2</sup>が実現します。

### 2. エコ製品の積極的な使用拡大とCO2排出量削減

マツヤスーパーは、エコ製品を積極的に使用することで、2025年7月期には50tのCO2排出量を削減しました。今後この取り組みをさらに強化し、2026年7月期には年間52.5tのCO2排出量削減を目指します。

### 3. 地域とともに進めるエコ活動

エフピコとマツヤスーパーは、「お店がその地域のエコリーダー」になることを目指しております。これからも地域の皆さまと共に環境への負荷を減らし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 回収された資源を原料とする「エコトレー」、「エコAPET」、「エコOPET」

※2 リサイクルの前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法

#### 【ご参考】

##### <株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地:〒163-6036 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー36階

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設 立:1962年7月24日

H P:<https://www.fpc.co.jp/>

【みんなでリサイクル】[エフピコ みんなでリサイクル](#) | [株式会社エフピコ](#)

##### <株式会社マツヤスーパー>

おいしさ・安全・安心にこだわった商品を取り揃えた、京都市を中心に8店舗を展開するスーパーマーケットです。バリアフリー設計の店舗や食品トレーの回収をはじめとした資源の有効活用など、人と環境に優しい取り組みを行っております。

所在地:〒607-8088 京都市山科区竹鼻地藏寺南町9番地1

代表者:代表取締役社長 中山 博雄

設 立:1961年8月14日

H P:<http://www.matsuyasuper.co.jp/>

以 上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ リサイクル推進部 TEL:03-5325-7559 FAX:03-5325-7767